

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

175号

★ 2015年12月21日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

○ ときわ台駅80周年記念展を ふりかえって

今年の「常盤台の景観を守る会」の最大のイベントは、10月1日～6日に「ギャラリー服部」で催した「ときわ台駅80周年記念展」と、10月4日に板橋区立中央図書館視聴覚室で催した「ときわ台駅80周年記念講演」でした。

記念展は南宇都宮駅との関連を、大谷石という観点から考察したものでした。また講演会は、東武鉄道博物館名誉館長の花上さん、鉄道総合技術研究所の小野田滋さんという滅多にない豪華な取り合わせで、視聴覚室は壊れた椅子まで出すほどの盛況でした。

その後、両駅について色々な方面からの考察が進んでいます。第2回を請うご期待です。

多くの方に、常盤台駅の成り立ちや東武鉄道(東上線)の歴史がどのような経緯で今に至ったかを知る機会を持てたことは非常に意義深い経験でした。歴史を知ることによって土地への愛着が湧いてきます。現在の私たちはいつも効率化を求められて、その存在するものの有り難さを忘れてしまっているのだと思います。

100年のまちづくりに、未来の子供達に伝統や土地そのものの歴史を感じさせることこそ、私たちの使命だと実感したセミナーでした。今後もときわ台の良い取り組みに積極的に連携できるといいな！と考えています。 司会担当 K

○ 亡き人を悼む

わが妻の どこにもあらぬ この世を
ただよふごとく 自転車を漕ぐ

(小池光 「思川の岸边」)

現実から遊離したような喪失感を良く表わしている歌だと思います。妻だけでなく、周囲の大切な人を失った人に捧げます。

○ 南宇都宮駅 まちなみ景観賞を受ける

栃木県宇都宮市は歴史文化部門のまちなみ景観賞を東武宇都宮線の南宇都宮駅に授与しました。東武鉄道はそれを受けて、駅舎の細部が良く見えるように、「南宇都宮駅」の看板の位置をずらしました。

東上線の常盤台駅もぜひ、同じように扱って欲しいと思います。

交番の隣の商店が軒並み閉店していますが、恐らくエレベーター設置のためと推測するばかりで、駅員にも本社にも聞いてみましたが教えてくれません。緘口令が敷かれているのでしょうか。思えませんが、なぜなのでしょう。

○ 中央図書館の行方

11月3日 平和公園周辺住民の反対シンポジウム 地域センター

11月21日 「公共施設の見直しと自治体のビジョン~人口減少・少子高齢化への対応と変革」 文化会館

12月2日 区の説明会 地域センター

と、関連の集会が行われました。常盤台での説明会は2日の地域センターで合同にするというので、2日は50人以上の参加がありました。しかし、周辺住民の反対の姿勢は変わらず、区側も中央図書館は平和公園でという方針は変わらないと譲歩を見せていません。

われわれ常盤台住民の希望は、中央図書館が常盤台に置けないのであれば、地域図書館は残して欲しい、というもので、その内容はまだ整理されていません。また、平和公園の方の決着が先ということで、交渉も始まっていません。御意見があればお寄せ下さい。

選択的夫婦別姓

十二月一六日、最高裁で注目の判決が出ました。現在までの日本の「夫婦同姓」(の強制)は合憲であるとの判決です。やはり世界第一〇一位の男女同権率の国並みの判決だと納得してしまいました。国連の二度もの勧告を無視する歴史的判決だったといえます。国会での議論に責任転嫁してはいますが、司法としての責任を放棄してしまいました。

これで日本の女性はまだまだ苦しみ続けねばなりません。事実婚や通称使用を広げる中で、諦めずに何度も違憲を訴えるしかないでしょう。

これから女性の労働力を当てにしなければ国が成り立たない時代となるのに、社会進出する女性は大変な不利益をこうむっています。

この制度が問題になるのは、日本では子供ときから姓で呼ばれるのが普通だからかもしれない。A山B子さんという人はずっと「B子さん」ではなく、「A山さん」と呼ばれて認識されていきます。結婚し、「C田さん」となった時、過去が切り離されてしまう気持ちになるのも当然です。何かの理由で離婚すると「A山」さんに戻る場合もありますが、再婚すれば今度は「D野」さんになったりします。その都度名前を変え、周囲にもプライベートなことを知られるのはどんなに不愉快なことか、この制度に批判を持たない人は想像力に欠けているでしょう。

また、この改正に反対する人がよく間違っているのは、全国民を夫婦別姓にしろと言っているかのように目くじらを立てることです。選択の自由すら与えないのは全く違憲です。

宮澤邸の保存は？

常盤台の建売住宅としては唯一現存している2丁目の宮澤邸は、修理があらかた終わり、借り手を捜している状態です。所有者のIさんは、建物は誰か住んでいないと荒れてしまうので、実際に大事に住んでくれる人を探しています。

練馬区の江古田にあるS邸は、アパートで有名な同潤会が建てた一戸建ての住宅ですが、今も一家によって文化財の指定を受けてつ、住み続け、守り続けられています。宮澤邸も、同様の価値は充分あります。保全について妙案はないでしょうか。

監視カメラ

町会の回覧板に警察からの勧めで、監視カメラが導入されることになったと出ていました。色々な事件で、犯人割り出しの決め手になっていくことは確かですが、防止にはなっていないようです。一方、一般のかは気にしていないようです。一方、一般の我々は、見張られていると言う薄気味悪さを感じないわけにはいきません。監視社会はいやなものですね。権力者が何の目的で使い出すかわかったものではありません。導入がやむを得ないならば、映像提供の条件を厳格にしてもらわねばならないと思います。

常盤台公園のはなづくり

公園課からの花の苗と一緒に、私達が別に用意したチューリップの球根を植えつけました。

景観を守る会の中心メンバーだったKさんの奥さんに助っ人をお願いして、なんとか午前中に植え終わりました。Kさんは十年前に亡くなりましたが、奥さんを今も守る会の絶大な協力者として残してくれました。

チューリップを植えた後は、芽が出る春まで何も植えられないのが普通ですが、今年はあまり淋しいので、パンジーを実験的に植えてみました。今のところ元気に咲いています。チューリップの芽が出始めたら、どかしてやらないと邪魔になると思うので、全面的には植えずにいます。

本当はデズニールランドみたいに年がら年中、花が咲いている状態は不自然で、冬は冬らしく、山茶花や寒椿ぐらいで良いと思うのですが、冬も彩りの良い園芸種が改良されて、どの公園にもぎやかになっていると、常盤台公園だけさびしいのもよろしくないかも、と悩みます。